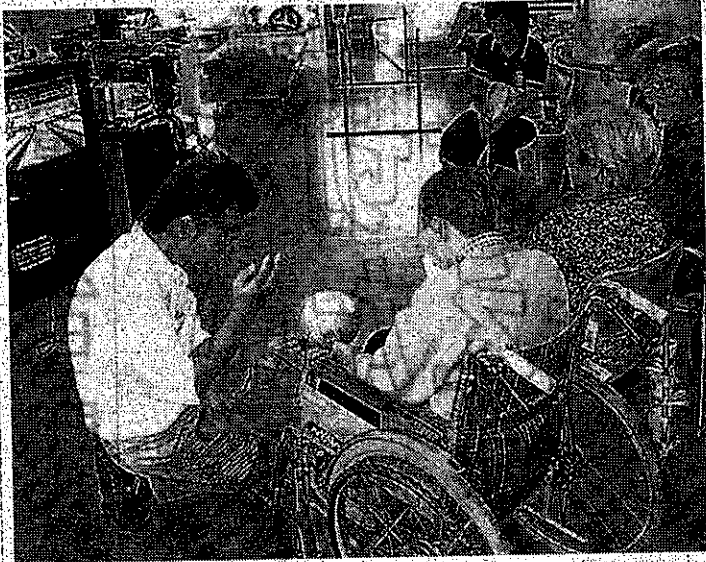


# 少人数介護、多彩メニュー

## 府、新デイサービスまとめ



小グループ活動を楽しむ高齢者たち（宇治市小倉町・市福祉サービス公社西小倉）

京都府は、昨年度にモデル実施した新しい通所介護デイサービスの研究成果をまとめた。利用者を少人数にグループ化して多様なメニューを提供し、自分の好みに応じて選り参加してもらう方式。参加者からは感情や知的機能の向上がみられたという。府は、このデイサービスをさらに広める方針だ。

# 感情・知的機能アップ

## 好きなこと意欲的に

従来のデイサービスは、多人数で行ったため画一的になりがちとの指摘があった。このため、府は新たな事業の研究に着手した。昨年十一月から三月月間にわたり、宮津、亀岡、宇治の三市の通所介護事業所でモデル事業を行った。

各施設では、テレビゲームやトランプなどの「ゲーム」、編み物や木工などの「物品作成」、園芸、書道などの「その他」のレクリエーションを小グループ別に提供した。通所者はこの中から自由に選んで、活動に参加した。

事業実施の前後に、参加者を対象に調査をしたところ、「従来のレクリエーションより楽しい」と答えた人は半数以上の56・1％にのぼった。また、「他人に役立つ気持ちになる」など感情面での効果や、「自分で適切に選択し、表現する」などの知的機能の向上もみられたという。

府介護保険推進室では「好きなことを意欲的に行え、介護予防の効果もみられた。今後は各通所介護事業所の担当者に、調査結果などを説明して、いろいろ工夫してもらい、新しい事業を普及させたい」としている。